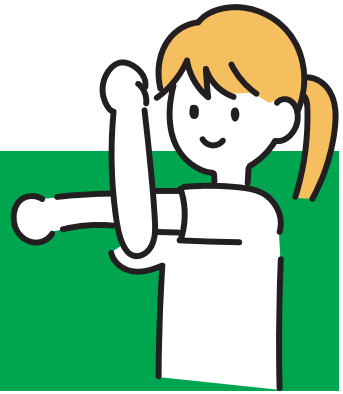


メタボリックシンドローム スポーツ栄養 地域活性化プロジェクト

団体紹介



スポーツ栄養で地域貢献をというコンセプトでスタートし、今年で結成 10 年目です。20 名の管理栄養士・栄養士の卵が在籍し、地域への栄養講座やボランティアなどを行っています。



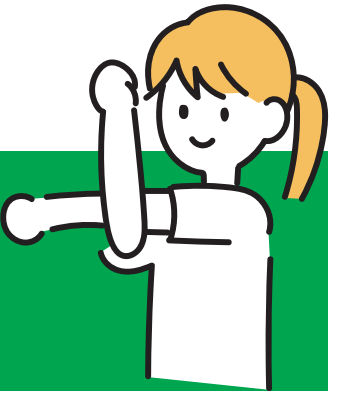
活動実績



- ①「宮城県県民健康・栄養調査」に依ると泉区民はスポーツ好きとするデータもあるので、ベガルタ仙台の公式戦（ホームゲーム）にて出店ならびにメタボ予防パネルの展示を行いました。
- ② 泉中央の居酒屋（陽のあたる処 居酒屋 SAR" U）と商品開発を行い、宴会メニュー「学生の紙芝居付き泉区ちゃんこ鍋×タボ宴会コース」を産学連携で考案、1 月に予約制で限定販売しました。
- ③ メタボ予防リーフレットを作成し、地下鉄アドポスト（泉中央駅・八乙女駅・黒松駅）や公共施設等に配布しました。



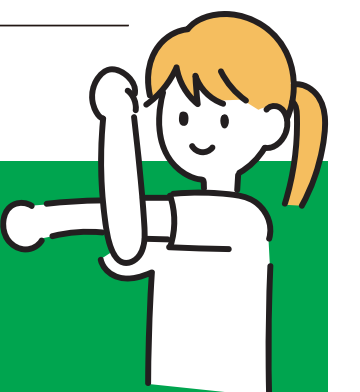
活動目的・視点



2018 年 1 月発表の宮城県県民健康・栄養調査によると、泉区の成人男性の肥満の者の割合は 36.6%と、宮城 12 地区の中で 3 番目に高く、且つ仙台 5 区の中で最も高いものでした。泉区の健康寿命の延伸を最終目的とし、「男性のメタボ」この問題の解消のため、泉区の成人男性の集まりそうな場所でメタボ予防の啓蒙活動につながる取り組みを行いました。



活動の成果・今後の目標や展開



展示のほか食べ物（アスリートワッフル、泉区ちゃんこ鍋）は好評だったので、成果として泉区での他のイベントでも販売をして、きっかけは耳目を引く食べ物でもメタボの啓蒙の一助にするのは良いと考えています。本年度の啓蒙活動については、居酒屋の商品開発を通じてケーブルテレビや地上波で泉区のメタボを伝えることができました。加えて地下鉄での配架やベガルタ公式戦での PR も行っており、今後の啓蒙効果を期待するところです。次年度も継続して、泉中央の健康作りとにぎやか創出に、少しでも貢献したいと考えています。

